

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟
〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17
電話・FAX (082) 296-5597
E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp
URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>
郵便振替口座 01380-6-37958

平成 24 年度定期総会開催

公益事業の推進

資産合計 22,020,842 円承認

日時: 2012・5月12日(土) 15:30~

場所: ホテルチューリッヒ東方 2001

平成 24 年度定期総会は 5 月 12 日 (土) 午後 3 時 30 分からホテルチューリッヒ東方 2001 で開催された。

主な議題は

- 1、平成 23 年度事業報告
- 2、平成 23 年度決算報告、監査報告
- 3、平成 24 年度事業計画
- 4、平成 24 年度予算案
- 5、その他

開会に先立ち、豊田事務局長から「議決権個数 292 個に対して委任状を含めた出席者個数 238 個となっており定款の定めによりこの総会は成立している」と報告があった。京才昭会長の挨拶ののち、京才会長を議長に選出したのち議事に入った。主な内容は次のとおりである。(詳細は総会資料を参照してください。)

第 1 号議案 平成 23 年度事業報告

登山教室、大山で 7 月 9 日遭難事故

①事業部 (池本)

クライミングスクール: 登山教室の事業部事業への変更。登山教室の大山での遭難事故 (7・9) のため 4

か月の登山教室の休止。(大山遭難事故報告書発行)

研修会等 34 回、延受講・参加者 560 人

②指導部 (池本)

講習会は、救急法講習会など 6 回 (延受講者 255 名) 実施。日本山岳協会主催講習会等 7 回 (延 14 名参加)。スタッフ派遣: クライミングスクール 9 回 (154 名受講)、クライミングビギナーズレッスン 12 回 (137 名受講) をそれぞれ実施した。

第 19 回比婆山スカイラン開催

③普及部 (野島)

第 19 回比婆山スカイランに開催 (5・21~5・22)、第 10 回ひろしま「山の日」県民の集い (6・4) 日山協主催自然保護委員会参加 (大山・10・15~10・16)、広島県自然保護指導者研修会 (12・11 西区民センター) など 14 項目の活動内容が報告された。

④競技部 (佐藤)

第 66 回山口国体出場等 20 の大会・協議会・記録会・研修会に出場、参加した。

⑤国際部 (名越)

第 19 回山岳辺境セミナーは三浦雄一郎氏の「生きがい 人生の最高峰を目指して」(12・1 健康福祉会館 受講者 170 名) を行った。2011 スカイランは韓国他からの招待選手はなかった。

福山城石垣清掃など

⑥県東部 (豊田)

第 10 回ひろしま山の日県民の集い (6・5 ふくやま

ふれ愛ランド 140名）、安全登山研修会（6・26 ふうやま市民参画センター 71名）、福山城石垣清掃（11・13 福山城 16名）、合同登山（11・27 内浦山 51名）を実施した。

修道高、インターハイ 2 位

⑦高体連（豊田）

広島県高等学校総合体育大会（6・5 竜王山ほか 16校 生徒 107名）、インターハイ（8・6～8・10 鹿児島 修道 2位、ND 清心女 24位）、広島県新人登山大会（2・19～2・20 県民の森 8校 生徒 38名）など。なお「40周年記念祝賀会が7月4日から5日に現役顧問 14、顧問OB 22 計 36名で盛大に行われた。

以上提案報告とおりに全員異議なく承認された。

第 2 号議案 平成 23 年度決算報告・監査報告 （豊田・野々下）

事務局から「平成 23 年度決算報告第 3 期」により次のとおり報告があった。（単位：円）

○貸借対照表

資産の部 流動資産 22,080,842（現金 31,863 普通預金 20,635,088 郵便貯金 1,241,320 前払金 172,571）流動負債 60,000（前受金 60,000）負債及び正味財産合計 22,080,842（一般正味財産 22,020,842 負債 60,000）

○正味財産増減計算書

1、一般正味財産期末残高 22,020,842（経常収益 8,230,602（受取会費 1,221,764、事業収入 5,376,143 ほか））経常費用 9,028,685（事業費 5,858,517、管理費 3,170,168）

○収支計算書 単位：円

| 区分 | 事務局 | 指導部 | 登山部 | 普及部 |
|-----|-----------|---------|---------|--------|
| 事業費 | 2,927,575 | 956,683 | 813,296 | 20,435 |
| 収支 | △856,756 | 149,492 | 173,856 | 41,806 |

| 区分 | 競技部 | 国際部 | 特別会計 | 合計 |
|-----|---------|---------|-----------|-----------|
| 事業費 | 566,760 | 386,606 | 3,357,330 | 9,028,685 |
| 収支 | 72,154 | △67,827 | △310,808 | △798,083 |

事業費：事業活動支出計

収支：事業活動収支差額 △：マイナス

会計監査報告

野々下耕生監事（税理士）より「通常認められる会計基準に従って監査した結果、執行状況及び財務は適切に処理されていると認められた」と報告があった。

以上提案報告とおりに全員異議なく承認された。

第 3 号議案 平成 24 年度事業計画

（山田理事長）

登山指導者の養成、青少年の育成

山田理事長から次のとおり提案があった。

1、事業方針

日本山岳協会、広島県体育協会に習って公益事業及び公益事業の見直しを行い、その推進に努める。

①登山指導者の養成 ②青少年の育成 ③安全登山の啓発 ④山岳の環境保全 ⑤登山に関する文化・芸術の振興 ⑥競技強化・運営 ⑦高所登山及び国際交流

登山教室を事業部直轄事業に

2、重要計画方針

（1）事業部体制の改正：派遣事業・個人会員（岳連例会山行）・登山教室を事業部直轄事業とし、指導部に登録している指導者を派遣する。また、机上学習及び岳連例会山行は、加盟団体及び、一般に呼びかけ安全登山の啓発に努める。（2）山岳共済の促進：「減遭難」対策に引き続き取り組むと共に、広く山岳共済への加入促進に努める。（3）安定した財源基盤の確立：自主財源の確保と経費節減を促進する。（4）「70周年記念誌」から：記念誌に掲載の「座談会」岳連今後の方向及び、会員 7 氏からの提言を受けて、その提案事項の検討と実行を行う。

3、「70周年特別事業」

（1）広島県山岳連盟 70 周年記念・ヒマラヤ遠征及びトレッキングを行う。：SURA 峰（6571m）未踏峰 ネ

パール（エベレスト街道・クンプ地域）、時期：平成24年10月～11月。

平成24年度（2012）一般社団法人広島県山岳連盟事業計画（案）平成24・5・12配布

来年度から他の行事との関係もあり、定期総会を5月25日（土）に変更する。

以上提案報告とおりに全員異議なく承認された。

第4号議案 平成24年度予算案（豊田）

事業活動収入予算 9,024,000 円

概ね前年度実績を踏襲

事務局から平成24年度予算案について資料により説明があった。主な内容は次のとおりである。

事業活動収入計9,024,000円、事業活動支出9,025,000円事業活動収支差額△1,000円

概ね前年度実績を踏襲したが、比婆山スカイラン（特別会計）事業収入を700,000円増、国際部事業収入を100,000円増とした。

以上提案報告とおりに全員異議なく承認された。

その他

岳連会計の現状検討へ

山田理事長から、つぎのような報告があった。

1、広島県山岳連盟組織図について

岡谷副会長、高体連からの坂本理事が退任した。名誉役員・監事・理事名簿、部長・スタッフの新体制は、別紙組織図のとおりである。

2、三倉岳使用手続きについて

三倉岳県立自然公園、は広島県から委託を受けた大竹市が管理人を置き管理している。マロンウォール、キャンプ場等の使用については岳連事務局を通じて申請書を提出して使用してください。（要項配布）

3、岳連会費の現状

現在の岳連会費収入は、32加盟団体と個人会員から1,07,000円を徴収しているが、上部団体の日本山岳協会など4団体へ加盟分担金及び年会費を344,000円支出しており、33%がこれにあたっている。今後岳連の財政を検討する際に会費についても検討したいと考

えている。

4、緊急時連絡体制・遭難対策基金規程について

昨年の遭難事故に関連して「緊急時連絡体制」を整備し「一般社団法人広島県山岳連盟遭難対策基金規程」を理事会で検討したので配布する。

平成24年度総会出席者 2012・5・12

堀内輝章（広島パイオニアクラブ）・小林浩二（福山山岳会）・菊間秀樹（広島県庁山の会）・岩城正人（マツダ親和会山岳部）・津田 寛（広島大学山の会）・山本拓志（宮島太郎の会）・加藤威海（タンネンクラブ）杉村 功（日本山岳会広島支部）・渡邊大輔（東広島山の会）・森 智昭（ひこばえ）・岡部忠行（広島三峰会）・佐藤 健（CEROクライミングクラブ）・久保信義（広島山岳会）・小野英治（広島山想会）・上原民樹（個人会員）・野々下耕生（監事）・京才 明（会長）・山田雅昭（理事長）・野島信隆（副会長）・村井 仁（理事）・仲井正美（理事）・池本喜浩（理事）・福永やす子（理事）・伊東泰文（理事）・豊田和司（理事）・名越 實（理事）・富澤哲郎（参与） 以上27名

岳連短信

1、寄贈御礼 ありがとうございます

峠 N048 2011・1～12 特集1山靴の絆 2踏み跡

A4 149p 2012・4・1 広島山稜会

長谷川さん思い出のアルバム 長谷川さんを偲ぶ会

A4 33p 2011・7・15 マツダ親和会山岳部

山・仲間そして酒 54p 2011・7・15

故長谷川忠彦追悼集編集委員会

60周年記念誌 115p 平成22・12・26

山口県山岳連盟

60周年記念誌 2010・11・23 岡山県山岳連盟

高知県山岳連盟創立五十年記念誌 102p 1996・2・1

40周年記念誌2010 116p 2010・4・25

広島県高等学校体育連盟登山専門部

報告書2007 霸王山5551m中国・四川省 64p

2008・2 日本山岳会広島支部創立十周年記念登山

登山教室のあゆみ PHOTO ALBUM 2008・4～2009・3

ひこばえ 74 15周年記念行事 鳥海山と出羽三山

登山 2012・3・1 登山教室同窓会ひこばえ

「私の百名山」心惹かれた一景 その 3

広島三峰会 会長 小方重明

東北

7. 巨大な山塊 (飯豊山 2105 m)



残雪を抱く飯豊山 撮影：2000. 8. 18

飯豊山は真夏でも豊富な残雪があって、2000メートル峰が幾重にも根を張るスケールの大きな山塊だ。初日は山頂直下の山小屋まで登って、翌朝、飯豊の山頂に立った。日本海や東北の山々が一望にできた。

雲海に浮かぶ磐梯山、吾妻山、蔵王、月山、鳥海山……。25年前いずれも福島滞在中に登った日本百名山だ。懐かしさが込み上げてくる。

8. 天上のオアシス (会津駒ヶ岳 2132 m)



会津駒ヶ岳と駒ノ大池 撮影：2007. 9. 17

会津駒ヶ岳の山頂から少し下って、駒ノ大池で昼食をとった。山仲間 I さんのミニクーラーから貴重な缶ビールが出た。喉が渇いていただけにおいしかった。

ここは標高二千メートルを超えた駒ノ大池。たおやかな会津駒ヶ岳が湖面に影を映している。まさに“天上のオアシス”だ！ ゆったりと時間が流れている。我々はなんと贅沢な山行をしているのだろう……。

9. 草黄葉に彩られる (八甲田山 1585 m)



仙人岱 撮影：2000. 8. 18

酸ヶ湯温泉 撮影：2000. 8. 18

八甲田大岳の下り、突然、足元に展望が開けた。草黄葉(くさもみじ)に染まった仙人岱(せんになたい)に池塘(ちとう)が点在していた。

その夜は酸ヶ湯温泉に泊って、千人風呂で汗を流した。女房は混浴にためらっていたが、いい湯だった。日本晴れの八甲田登山の一日であった。

安全登山のために③**歩行技術 自分のペースを早く見つける**

すべての動物たちは幼い時から歩行技術は身につけている。あえて考える必要はない。しかし、歩行のペース、呼吸方法、カロリーの補給などは体力を最小限にするための技術として疎かにしてはいけない。

1、歩き始めはゆっくりペースで

体が温まったら徐々にペースを上げよう。(最初からペースを上げると慣れないために体のバランスが崩れ長時間の行動ができなくなります。)

2、呼吸はしっかりと吐き出すこと

吐き出すことで自然に酸素の吸収ができます。(時々深呼吸などをすると効果的です。)

3、自分のペース、疲れのペースを早く見つける

自分なりの対策が可能。(疲れなどは個々に違うので自分に合った行動食、水分の補給方法を見つける。近郊の山行などで試すことが大切です。)

4、安全な場所での歩行は気を抜いて歩く

いつも緊張していると精神的に疲れて長時間の行動ができない。歩きながら休むことも大切です。)

岳連短信**1、森林セラピー拠点に認定 安芸太田町**

安芸太田町は、科学的データに基づき心身への効果が見込まれる森林浴「森林セラピー」の拠点として認定された。県内では初めて。

NPO 法人森林セラピーソサエティー (東京) が認定する。「森林セラピー基地」正式登録は 4 月 1 日付。まずは森林セラピーロードとして龍頭峡、三段峡、深入山、恐羅漢山麓の 4 コースを今年度中に整備する方針。自然へ導くガイド養成も進める。

2、登山ガイド季刊で発行 江田島市観光協会

江田島市観光協会は市内 6 峰の魅力を紹介する登山

者参加型のガイドを作成した。A4 版、カラーで 28 頁。初版は古鷹山 (江田島町 394m)、陀峰山 (大柿町 438m) など 6 峰の歴史、見どころを写真付きで紹介した。ふるさと交流館や市役所本庁で配布するほか、HP 上で閲覧できるようにする。

協会 ☎0823-42-4871

山の風景 ⑩**大黒山 (岩国市周東町)**

写真提供 森 智昭

**編集部より**

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美